

# コミュニティ壬生野

第38号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2008（平成20）年7月1日発行

## ◆6月14日（土）、西之澤ノハナショウブ群生地で2つの行事が開催されました。

### ◇ウオーキングとノハナショウブ鑑賞会が開催される。

—健康福祉専門委員会—

6月14日（土）9時から壬生野地域まちづくり協議会、健康・福祉専門部会と健康の駅長共催で、ウオーキングとノハナショウブ鑑賞会が開催され、40名の方が参加されました。

当日は、雨も心配されましたが、皆様の心かげのおかげでお天気に恵まれました。

壬生野小学校駐車場を出発、滝川橋に沿って、滝川浄水場三ツ池を経て西之澤ノハナショウブ群生地へ。

往復路4キロメートルの行程を歩きました。

ノハナショウブ群生地では、川西区の居附さんの出迎えをいただきました。

しばし写真を撮ったり、花に見入ったり・・・

その後、ノハナショウブの保護に携わっておられる居附さんのお話を聞き、保護に至った話、苦労話などが皆さんから質問されました。

私たちの何気ない日々の中で自然破壊が進んでいる事を実感しました。特に、水の汚染が深刻とのこと。ノハナショウブは今、井戸水によって守られています。

帰路、三ツ池、浄水場の説明を健康の駅長さんからいただきました。無事に壬生野小学校駐車場に戻り、行事を終えました。



編集：藪田きみ子委員

### ◇ノハナショウブ観察会

—教育文化委員会—

天候に恵まれて！

6月14日（土）、恒例となりました「ノハナショウブ観察会」が西之澤「平池」周辺を拠点として開催しました。

「平池」下の居附繁亀氏所有地は、光代の萬亀男氏が周辺環境の変化から、年々減少しつつあるノハナショウブを移植育成されてきた土地で、今や満開の見頃となり、私たちが迎えてくれま

した。

ここを拠点に、自生地でもある「通り池」「中之池」「花地藏池」の3ヶ所を廻りましたが、少数点在で移植育成地に比べ花も少なくひ弱な感がありました。よく見ると蕾があちこちに見られ、開花の準備がされていることに安堵しました。しかし、地元の話によると、花地藏池周辺は道路に接しているためか、盗掘等で年々減少し、ほんの数株となっていることに寂しさを感じました。ノハナショウブの育成状況が地域の環境のバロメーターかな？ と考えさせられた一日でした。

当日は、山岸会さんから昼食のデザート（トマト）を沢山頂き有難うございました。いつものことながらお礼申し上げます。

**追記** 県天然記念物に指定されているこのノハナショウブを、これからも地域ぐるみで守っていくことが求められています。

編集：森川幸生委員



## ◇ お知らせ ◇

— 地域防犯実行委員会 —

### 地域防犯パトロールの講習会の開催



◇地域防犯実行委員会では、まちづくり委員を対象に講習会を開催します。

地域の安全・安心を確保するため、防犯ネットワーク構築にむけ、青色回転パトロール車による小・中学校下校時、夜間等のパトロールや通学時の安全誘導など実施しています。そのため、青色回転装備によるパトロールの運行については、三重県警察署の講習と認可を受けた者の乗車が義務付けられており、このため、この講習会を実施しようとするものです。

詳しくは、後日、まちづくり委員さん宛に依頼文書を送付しますので、よろしく願いいたします。

◇日 時 平成20年7月15日（火） 19：30～

### 議会報告会が開催されます。

と き 平成20年 7月25日（金）  
19：30より

ところ 川東区多目的集議所

◇ 皆様方多数のご参加をお待ちしています。



## 第1回パソコン教室の開催

—窓口運営委員会では、未経験者を対象にパソコン教室を開催します。—

毎週土曜日の午前中は、“くつろぎの場”としてときめきサロンを開いています。お茶やコーヒーを飲みながら、そのひと時にパソコンでも覚えてみませんか！

パソコンはあるが、今まで使ったことがないので、これから覚えたい。といった方、気軽にご参加下さい。（内容は、はがき作製までの程度）

- 場 所 壬生の里 2階まちづくり協議会事務所
- 日 時 7月19日（土）10：00～12：00
- 定 員 8名程度（先着順）
- お申込方法 窓口運営委員の北村節子さんまで  
連絡先 Tel 45-4196



## — 出来事ウオッチング —

### 川東区民運動会が行われました

恒例となった2年に一度の川東地区の区民運動会が今年も6月8日（日）、9時30分から壬生野小学校体育館で約300人の参加のもと、開催されました。

誰にでもできる軽スポーツのキャッチフレーズで、前回から取り入れたカーリング競技がおこなわれ、保育園児からお年寄りまで幅広い層の区民が参加されました。

また、午後のひとときには伊賀市の体操でおなじみの「にんにん体操」が女性2名の指導により、会場いっぱい元気に行なわれました。

そして、この日は一人のけが人もなく、川東区民にとってたいへん楽しい一日となりました。



〔

カーリング競技の様様〕

## ☆我がまち 探索見聞記



### —我がまち郷人倶楽部—

子供のころ、トンボ、カブト虫、メダカ取りに、ドングリ拾いにと駆けめぐった里山をよみがえさせ、今の子供たちにその喜びを伝え守っていこうと意気込んでいる人々の集まりが山畑区で活動しています。

平成18年9月29日に三重県の里地里山保全活動団体に認定され、その名称を「我がまち郷人倶楽部（代表者：中林幸男氏）」といいます。先日、稲作、麦の取り入れ作業が一段落したこの時期に、青々とした伸び放題となっている雑草の刈り取り作業がおこなわれました。

これまでに炭焼き釜(小屋)2棟で、炭焼き経験者から指導を受けながら、沢山の炭を焼きました。そして、昨年には牛の放牧も行いました、この里山保全活動に上野農業高等学校景観園芸科の諸君が加わって活動がますます活発化しています。

生徒諸君の手作りによる水車や散策路の施工、間伐材利用のベンチ、ビオトープ池(公園)のための測量等々数多くの制作に頑張っているそうです。

先日も、この活動を伊賀上野ケーブルテレビが取材に見えました。また、ホームページ「みえの自然楽校」でもこの団体の活動が紹介されています。里山は、自然のしくみを取り入れ、それに逆らわずに生きていたところ。時代の変化とともにどこかに置き忘れてきた、本物の暮らしがあります。

それを自分たち手で復活しようと取り組んでいる姿勢に尊敬するものですね。場所は、滝川の上流で滝の口にあり、「金剛の郷」郷人倶楽部活動地があります。

壬生野にお住まいのみなさま、一度、現地を訪ねてみてはいかがでしょうか。自然とのふれあいを楽しんでみましょう。

編集: 中林正則

## ヤマギシだより — 酪農教育ファーム —

今年4月、ヤマギシ春日山は『酪農教育ファーム』の認定を受けました。『酪農教育ファーム』とは、牧場や農場を子ども達の学びの場として開放し、食といのちの学びを支援する活動です。現在全国で約200の農場が認定されています。今までに春日山を訪れてくれた人たちからの勧めもあって、より広く公に農場を開放したいと思い、認定を受けることにしました。

今までのように幼稚園、小学校の校外体験学習や社会見学を受け入れる他に、学校に飼育者が出向いて出張授業をすることもできます。子ども達にとってこの体験が、食べ物大切さ、いのち大切さに気付いて自分達の生活を見直したり、自然と調和する生き方を考えたりする機会になれば、と思っています。

春日山ではエサ(飼料)を自給するための広い畑があり、牛について勉強することで、飼料作物・牛乳・堆肥・畑の野菜と自分達とのつながりが目に見えやすいようです。どんな風にしたらもっとわかりやすく伝えることができるのか、これからいろいろ工夫してみたいと思っています。

(柳文夫 談)



### ときめきサロン

土曜日の午前中は、まちづくり協議会の事務所(壬生の里 2階)へお出かけ下さい。図書貸し出しをします。お茶やコーヒーを飲みながら、楽しくおしゃべりなどもしませんか。是非、子どもさんも一緒に“くつろぎの場”としてご活用下さい。

7月のお世話をさせて頂く担当者は、下記の通りです。(8:30~12:00)

5日〔土〕	北村 節子	三根 久美子
12日〔土〕	米野 滋基	福森 和子
19日〔土〕	五百田 昭徳	服部 ひとみ
26日〔土〕	平地 章昌	金谷 宗清

### 編集後記

広報公聴実行委員会では、今後もより一層の充実を図るため、皆様方の周辺の身近な出来事や行事、ニュースなども積極的に掲載していきたいと考えておりますので、下記のところまで情報をお寄せ下さい。

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会

事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内  
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL <http://www.mibuno.net>